

# 主要国の気候変動政策(中国)

## 第12次5カ年計画における地球温暖化対策

第12次5カ年計画(2011年~2015年)

温室効果ガス排出抑制方案

拘束性目標: GDP当たりのCO2排出量17%削減

・各地域へ削減目標の割り当て

第12次五カ年計画における気候変動分野の主要な11側面	概要
1. 法制度の構築と戦略的計画策定の強化	<ul style="list-style-type: none"><li>気候変動対策の特別法の研究、気候変動対策の要求と一致した関連法、規制、規則、基準の見直し</li><li>低炭素開発戦略についての調査と気候変動へ適応するための戦略の研究の促進、中国の技術開発ロードマップの作成、温室効果ガス排出抑制をし、国家計画としてまとめる</li></ul>
2. 経済再編の加速	<ul style="list-style-type: none"><li>エネルギー多消費型、高排出型産業の急速な拡大の規制</li><li>後進的な生産設備の撤廃の加速</li></ul>
3. エネルギーミックスの最適化とクリーンエネルギーの開発	<ul style="list-style-type: none"><li>総エネルギー消費の抑制、エネルギー開発計画の策定、総消費量の抑制目標とタスクと責任をシェアするメカニズムの定義づけ</li></ul>
4. 主要な省エネプロジェクトの継続	<ul style="list-style-type: none"><li>ボイラー・キルンシステムの改造、モーターシステムの省エネ、エネルギーシステムの最適化、残留熱と圧力の利用、建物の省エネ規制等</li><li>主要な省エネプロジェクトの実証、工業、建設、輸送部門での省エネの推進、すべてのエネルギー効率向上への努力</li></ul>
5. 循環経済の積極的開発	<ul style="list-style-type: none"><li>低炭素開発戦略のコーディネイト、技術開発や実証、一般化への支援、資源生産性上昇の努力</li></ul>
6. 低炭素パイロットプロジェクトの確実な開始	<ul style="list-style-type: none"><li>省、自治区、市町村を統括、低炭素開発の方策を開発し、政策やシステムの策定を導き、低炭素な産業システム、消費パターンの構築を加速する</li></ul>
7. 炭素排出取引市場の段階的設立	<ul style="list-style-type: none"><li>省横断的、地域横断的な排出権取引システムの段階的設立</li></ul>
8. カーボンシンク容量の増加	<ul style="list-style-type: none"><li>生態系保護プロジェクトの継続による精神的な植林の促進</li><li>都市部における植林の努力</li></ul>
9. 気候変動への適応能力の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>苛酷な気候変動に対応するためのキャパシティービルディングの重視</li><li>農業と林業が気候変動に対応するための政策と方策の研究と策定</li></ul>
10. キャパシティービルディングの継続的強化	<ul style="list-style-type: none"><li>温室効果ガス排出量のモニタリングを行うための基礎統計システムの構築</li></ul>
11. 気候変動分野における全方位的な国際協力の実行	<ul style="list-style-type: none"><li>先進国との対話の継続、気候変動分野における南南協力の主導</li><li>他の発展途上国への支援、外国との協力を行う包括的なシステムの構築</li></ul>

備考: 出典の"China's Policies and Actions for Addressing Climate Change"は、中国気候変動対応白書の中で、毎年COPの直前に中国政府から気候変動政策を世界に示すことを目的として出されている。2011年版では、これまでの気候変動対策の成果に加え、第12次5カ年計画における気候変動分野の11の主要な側面が紹介されている。

出典: Chinese Government's official web Portal "Full text: China's Policies and Actions for Addressing Climate Change", [http://www.gov.cn/english/official/2011-11/22/content\\_2000272\\_9.htm](http://www.gov.cn/english/official/2011-11/22/content_2000272_9.htm)

# グリーンイノベーション進展に向けた議論のあり方

- 長期目標の設定：20年、30年後に、どのような世の中(日本&世界)であってほしいかという理念に関する徹底的議論。長期的にそのような世の中に至るためには、いつ頃に何をしなくてはならないかという工程表(ロードマップ)の作成。
- 上記の工程表を実現していくに必要な制度の検討。社会イノベーションを阻害している制度の洗い出し。必要となる費用の検討も重要だが、単なる費用の議論ではなく、対策により得られる便益(環境改善)や、費用の効果性について検討が求められる。
- 社会を構成する各主体の役割を各自が自覚し、長期目標や工程表の議論に参画。長期目標達成に資する科学・技術の支援。保護と競争のバランスの中で技術を開発・実用化・普及させる産業部門、長期目標に向けて自律的に行動する市民(消費者)。各地域に則した一早い対応が望まれる市町村。
- 科学(者)の役割。環境問題は社会情勢と同様にダイナミック(日々変化)。モニタリング、要因分析、必要となる対策、すでに実施した対策の効果分析、その結果の周知、といったサイクルの確立が必要。正確で、かつ、分かりやすい情報伝達のあり方。